

D-1 学校研究のまとめ

1 学習課題の工夫が、読解力向上への手立てとして有効であったか。

- (1) 課題提示での興味や関心を引き出すための内容の工夫や、展開における中心課題に対する発問を工夫することによって、生徒の発想力を引き出すことができた。
- (2) 同じ考えであっても自分の言葉で答えることや、理由を述べて答える指導や、普段からノートに自分の考えをメモし、まとめることや、友達の考えを聞き取ることに取り組むことによって、論理力が育った。
- (3) 自分の考えをまとめる欄や、友達の考えをメモする欄を設けたワークシートの工夫や、ワークシートを利用したペア学習やグループ学習での話し合いを通じて、表現力や評価力が高まってきた。
- (4) 自分たちの考えを分かりやすく伝えようと工夫した発表を通して、表現力やコミュニケーション力が向上した。

学習課題の内容やその提示の工夫、解決の過程における教師の働きかけは、読解力向上への有効な手立てであった。

2 学習過程の工夫が、読解力向上への手立てとして有効であったか。

- (1) 自己解決の時間を確保し、ワークシートを用いたり、付箋を利用したりし考えを書きださせ、考えとしてまとめる作業を通して、発想力や論理力の向上につながった。
- (2) ペアやグループ学習では、係分担を行い、責任を負わせ学習に参加する仕組みを作ることにより、個々に、意識の向上や、学び合いの気持ちが生まれた。また、友達の考えに触れることにより、意欲的に考えようとする態度が見られ、このような学習の高まりの中で、表現力や評価力、コミュニケーション力につながる力がはぐくまれた。
- (3) 自己評価を通して、評価力の向上につながった。

協同学習の考えに基づいた学習過程の工夫は、読解力向上への有効な手立てであった。